

# 革命の旗

共産主義者同盟  
(革命の旗)  
中央機関紙

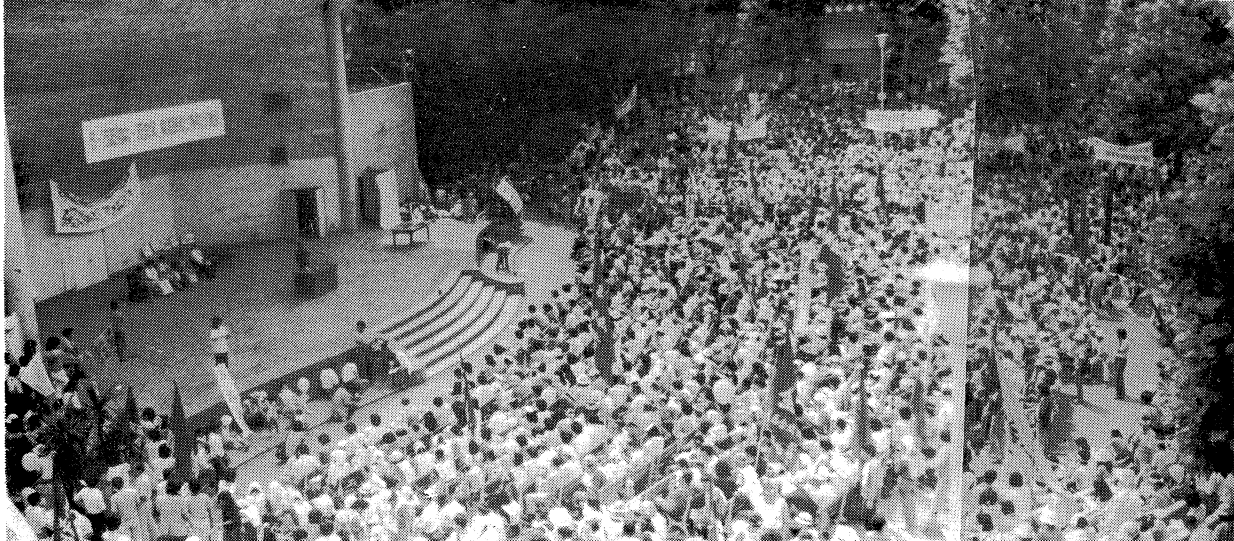
第 19 号  
1980・6・20  
定価 100円  
(毎月5日・20日発行)

発行人 北 沢 晋  
発行所 赤 流 社  
電話 (03)407-3511  
東京都世田谷区千歳  
郵便局 私書箱4号  
振替 (東京)7-86947

年間定期購読料  
開封2500円(送料共)  
密封3000円( )

## 反戦反安保闘争は拡大する 労働者階級の党を準備せよ

先進的労働者、学生、農民の間では反戦反安保の闘いの必要性が強く意識され始めた。五月中旬から韓国国民衆決起に呼応した集會・デモが全国各地で展開され、先進的労働者・人民の間で、日本帝国主義の南朝鮮侵略と、全斗煥軍事政権への援助中止の声が高まっている。とりわけ三里塚農民は、韓国国民衆の起ちあがり、我が戦いの未来を見た「三里塚を日本の光州にしよう」と宣言、プロレタリア国際主義の精神をこめていっしょに闘った。また、部落解放同盟も「韓国国民衆の真の人間解放の闘いを、断固支持する」と宣言し、「反差別・反権力・反侵略」の闘いの決意をうち固めている。そして、こうした闘いの展開と呼応した六月十五日、日比谷野音の「韓国国民衆連帯、反安保反徴兵制」集會には、七千名の労働者・人民が結集し、首都をゆるがすデモ行進を展開した。韓国国民衆の決起に呼応する、わが国労働者階級・人民の闘いは、一步一步前進し始めている。反戦反安保闘争の革命的発展のより広々とした舞台と条件が生みだされ、新たな大衆運動の高揚の序曲がきり開かれようとしている。今こそ、全力をあげて、革命的な反戦闘争の橋頭堡を築きあげねばならない。



6・15 日韓連帯 / 反安保 / 反徴兵制 / 日比谷野音に結集した7千名の労働者・人民

「大平不信任案」に表出した自民党単独支配の瓦解と「連合政権」への各議案主義政党的思惑は、日帝の体制的危機の深さと広さを示して余りある。この時期、衆参同時選挙の中で、自民党から共産党まで、防衛問題を中心にかかかっている。これが、帝国主義の危機、燃えあがる民族解放闘争の前進と帝国主義間矛盾の増大、帝国主義戦争の接近を示している。このようにして、政府危機の拡大と議案主義各党の「政権」構想は、

### 階級激突の序曲戦に突入した 社会主義革命をめざす活動を

帝国主義の危機を緩和させるのか、それとも決定的に拡大させていくのか。ここに今日の一切の階級闘争の本質問題がある。緩まんだが、確実に進んでいる労働者階級・人民の議案制民主主義からの離反と大衆行動のいぶきは、底深く流れた。これを奔流として組織してこそ、政府危機、帝国主義体制の危機を拡大させることができる。しかも、革命への力を散せず、首尾よく闘うためには、単一の労働者階級の革命的党を創建すると同時に、これへ向けた革命的路線を明確に示し、そして前進しつつある労働者階級・人民の闘いの中で、このことを実証しなければならぬ。

「このことを緊急政権構想として示した。このことによって、逆に共産党の「民主連合政権」構想も、小ブルの幻想であったことがいま示されている。このような事態はわが国のみならずフランス、イタリア等同様である。昨年の総選挙で仏共産党は後退し、社共統一戦線は事実上崩壊した。また今年の総選挙での伊共産党の後退は、如実であった。資本主義の相対的安定期に、改良の果実の獲得による改訂改良主義の破産は明白である。今日、その「改良の果実」そのものの根拠が、民族解放闘争の前進と資本主義各国の過剰生産による同時不況の深まりによって喪失し、こうした現代修正主義や、労働貴族たちの物質的基盤そのものが帝国主義体制の危機とともに崩れ去っているからに他ならない。伊共産党の「歴史的妥協」路線は、資本主義体制の救済のために国家的秩序の強化、治安、国防、国家統制の強化の道へと自らをそつ先して進ませている。七〇年代中期、この「白共産党」のユーロ・コミュニズムを絶賛した日共も、今やその一言も口にできず、「よりましな政府」「真の愛国者」をもつて同様の道をつき進んでいる。このように、日一日と帝国主義の危機の深化は、日本帝国主義の救済ブルジョア階級独裁の延命か、それともその打倒をめぐる階級対立として、「連合政権」かそれともプロレタリア階級独裁労働者・農民の共和制をめぐる激しい選

めぐることを「緊急政権構想として示した。このことによって、逆に共産党の「民主連合政権」構想も、小ブルの幻想であったことがいま示されている。このような事態はわが国のみならずフランス、イタリア等同様である。昨年の総選挙で仏共産党は後退し、社共統一戦線は事実上崩壊した。また今年の総選挙での伊共産党の後退は、如実であった。資本主義の相対的安定期に、改良の果実の獲得による改訂改良主義の破産は明白である。今日、その「改良の果実」そのものの根拠が、民族解放闘争の前進と資本主義各国の過剰生産による同時不況の深まりによって喪失し、こうした現代修正主義や、労働貴族たちの物質的基盤そのものが帝国主義体制の危機とともに崩れ去っているからに他ならない。伊共産党の「歴史的妥協」路線は、資本主義体制の救済のために国家的秩序の強化、治安、国防、国家統制の強化の道へと自らをそつ先して進ませている。七〇年代中期、この「白共産党」のユーロ・コミュニズムを絶賛した日共も、今やその一言も口にできず、「よりましな政府」「真の愛国者」をもつて同様の道をつき進んでいる。このように、日一日と帝国主義の危機の深化は、日本帝国主義の救済ブルジョア階級独裁の延命か、それともその打倒をめぐる階級対立として、「連合政権」かそれともプロレタリア階級独裁労働者・農民の共和制をめぐる激しい選

### 労働者階級の偉大な事業達成のために 圧倒的カンパを!

全国的同志、友人、読者諸君! 動攻勢、民衆の公然たるブルジョア政変としての台頭、社共の動揺と一層の体制内化という事態は、労働者階級の権力・社会主義革命を闘いとするプロレタリア階級独裁以外に、われわれの未来はないことを示している。

この数カ月間の日本階級闘争は三たび、大衆闘争の高揚局面をかいま見せた。自民党政府の危機の進行と、帝国主義の戦争準備・反

わが同盟は、共産主義者同盟を継承し、革命的な政治諸派と共同して闘い、マルクス・レーニン主義思想と、日本革命の政治路線の

をこつつけた。今こそ労働者階級が政治の舞台へと進み出て、社会主義革命の道を進むこと。そして何よりも、労働者階級の単一の戦闘司令部「単一の革命党」が求められている。

昨年冬の、多くの同志、友人、読者からのカンパは、わが同盟の中央機関紙「革命の旗」月一回発行へと向けられ、大きな成果を得ることができた。諸君の協力の一つ一つが、わが同盟を鍛え、奮い立たせ、はげましていく。

とに団結を進め、日本革命の準備に全力をあげている。この勢力を一步でも前進させ、労働者階級の偉大な事業の達成のため、多くの友人読者諸君の協力を、心から要請する。

### 反戦反安保闘争を担う 労働者階級の隊列を創出せよ

現在の反戦反安保闘争は社会主義革命のための一大試練場となっている。ブルジョア支配階級の危機感、政府危機の中で増大している。世界の徴兵制導入発言や軍事機構の強化と、そして天皇制と結びついた民間反革命・右翼反共宗教勢力の台頭は、迫りくる階級激突戦の様相を呈している。

だからこそ、いま労働者階級・人民の戦闘的、先進的部分が、共同した陣型を構築し階級激突戦に備えることが必要である。三里塚闘争に結集した数十万の人民の内化はこれと対決できるものではない。労働「右翼統一」は事実上、私鉄連連の国労批判としてさらに進展し、全電通の再登録一戦闘的革命的な統一戦線を形成しなければならぬ。現在の段階に至っている。しかし、現在の階級闘争を第四インターのように、社共への投票と

### 6.22 日帝の戦争準備と対決する 反戦反安保労働学総決起集会

午後2時 清水谷公園 主催・集云実行委

これらの民族の自決権、国家的に分離する権利を承認し、国家を構成するすべての民族の完全な同権を実現する(「同」)ことが出来る。そして、何よりもこの政治的手段を行使し、社会主義経済の確立のため「ブルジョア階級が私有し独占する生産手段、および流通手段を没収し、プロレタリア階級独裁の下で社会主義の国家所有とし、銀行、および労働農民が所有する以外の土地を、社会主義の国家所有とする(「同」)ことである。こうしてこそわれわれは「プロレタリア階級と労働人民が資本主義による破壊から生活を守る」ことができる。

### 革命的な反戦闘争を構築するために 四〇〇円 好評発売中

6・28 韓国国民衆決起に心をよせる日本民衆総行動(予定)  
7・4 軍事独裁政権を許すな! 対韓政策の転換を要求する集会  
清水谷公園 午後5時 実行委  
山手教会 午後6時 実行委

# 革命的な反戦闘争の組織化はすすむ

## 東京 祖国擁護派を粉砕し、先 進的労働者の隊伍固める

全国の労働者のみなさん。「革命の旗」の読者のみなさん！朝鮮南部人民の民族民主革命の風が、東原炭産、東国製鉄労働者の実力占拠ストライキ闘争、全日学生十数万人の一斉実力決起、そして、光州市の武装蜂起へと発展し、維新勢力、全斗煥軍事独裁体制の大虐殺に抗し、燎原の炎の如く全土をおおひ始めている。今日、日本労働者階級の任務、とりわけ六月反戦反安保闘争への決起は、いよいよ重大なものである。我々東京委員会、こうした情勢下、韓国民衆の決死の決起に

「革命の旗」の読者のみなさん！朝鮮南部人民の民族民主革命の風が、東原炭産、東国製鉄労働者の実力占拠ストライキ闘争、全日学生十数万人の一斉実力決起、そして、光州市の武装蜂起へと発展し、維新勢力、全斗煥軍事独裁体制の大虐殺に抗し、燎原の炎の如く全土をおおひ始めている。今日、日本労働者階級の任務、とりわけ六月反戦反安保闘争への決起は、いよいよ重大なものである。我々東京委員会、こうした情勢下、韓国民衆の決死の決起に

## 6.15 日比谷野音 七千名結集

### 新たな胎動

わが同盟は戦争と革命の八〇年代へ進撃せよとの昨十・八共産同政治集会における号砲から、朝鮮カンボジアアフガニスタン民族解放闘争の大激動を、今春期に革命的祖國敗北主義の旗幟を鮮明に打ち出し、自衛闘争の提起と運動するように、六・一五大集会在圧倒的に関わられた

わが同盟は戦争と革命の八〇年代へ進撃せよとの昨十・八共産同政治集会における号砲から、朝鮮カンボジアアフガニスタン民族解放闘争の大激動を、今春期に革命的祖國敗北主義の旗幟を鮮明に打ち出し、自衛闘争の提起と運動するように、六・一五大集会在圧倒的に関わられた

## 韓国民衆に連帯し 6.14~15首都 総行動闘わる



遺志に伝える道は—— 決意表明を行う村木同志

六月十四日、東京半公堂において六月の会主催、樺美智子虐殺二〇周年記念集会が行われた。会場には二〇年の歳月を告知するように白髪のお老練者から、六〇年安保闘争の時に生まれたであろう若い学生活動家まで、五百人に近い労働者・学生らが参集し、ブンドの革命的伝統を継承せんとする志も新たに、壇上に飾られた故樺同志の遺影にそのすべての視線が注がれていた。

午後二時半、開会が宣せられる。六月の会の渡部昌氏が登壇し、全員で黙祷、同じく林紘義氏による主催者挨拶の後、第一次ブンド書記長であった島成郎、「労働情報」編集人樋口篤三、婦人民主クラブ委員長佐多稲子各氏の記念講演に

習熟するのみにとどまることなく革命的大衆行動を組織し、領導し抜く能力を獲得することに総力をあげてきた。

このなかで、我々は、労働運動を主戦場とした右翼的「労働統一」に対する闘いの全成果を投入し、労働者の先進的部隊を革命的な反戦闘争の布陣と主体へと組織し抜くことを課題として闘ってきた。

しかし、大衆行動と共同闘争の組織化は、我が党の活動の段数の飛躍とそれへの熟達を不可決としており、我が隊列に少なからず困難をもたらした。全党をあげた正し道への闘いを通すなから、三多摩の宮岡氏を招いての講演会の組織化を始めとして各地区で講演会を積極的に実現し、全戦線にわたり決起の布陣を構築してきた

の階級の戦闘的再生に向け奮闘している多くの労働者・労働者の合流をも取り、筑波処分粉砕を頂点とする学生運動の新たな胎動に見られる学生戦線の全国的結果も徐々に進みつつある。

準備期間の短さに比して、日比谷野音を埋めつくした労働者、学生、市民諸団体の結集は、まさに内部に第四インターの連帯祖國擁護や、様々な色あいの小ブル平

## 6.22へ階級的結束と自覚高まる

### 神奈川



渋谷駅頭での情宣

六・二二中央闘争を闘うにあたって、神奈川においては、全党・全細胞の総力をあげた組織戦を展開されている。時あたかも、六・二二ダブル選挙と併行する中、全県の労働者、人民に対して、真に迫るべき革命的階級の政治的決起を、マルクス・レーニン主義の政治宣伝・煽動闘争を闘いぬいてい

われわれの提起する六・二二反戦反安保、日韓連帯の人民闘争への呼びかけは、多くの労働者に、大きな共感をまきおこしている。すでに全県下の街頭は「革命の旗」と六・二二闘争のステッカー、更にわれわれの六つの煽動スローガーンによってうめつけられている。

今春闘の敗北による低賃金、劣悪な労働条件の強制は、すべての労働者・人民に生活苦と災禍をもたらした。資本主義の根本矛盾への批判の土壌は広範に存在しはじめた。また先進的労働者は、自己の経済闘争と改良闘争からの飛躍を求め、階級的結束と自覚を高めている。

現在六・二二へ向けて、川崎、横浜、横須賀、県北等の、神奈川の主要地域での時局問題について

六月十四日、東京半公堂において六月の会主催、樺美智子虐殺二〇周年記念集会が行われた。会場には二〇年の歳月を告知するように白髪のお老練者から、六〇年安保闘争の時に生まれたであろう若い学生活動家まで、五百人に近い労働者・学生らが参集し、ブンドの革命的伝統を継承せんとする志も新たに、壇上に飾られた故樺同志の遺影にそのすべての視線が注がれていた。

午後二時半、開会が宣せられる。六月の会の渡部昌氏が登壇し、全員で黙祷、同じく林紘義氏による主催者挨拶の後、第一次ブンド書記長であった島成郎、「労働情報」編集人樋口篤三、婦人民主クラブ委員長佐多稲子各氏の記念講演に

## 春期政治スローガン

迫り来る帝国主義戦争に対し、反ソ反米反覇権の国際闘争と連帯し、革命的祖國敗北主義を貫き、プロレタリア階級独裁・社会主義革命へ総進撃せよ！

○朝鮮人民の自主的平和統一・南半部の民主革命に連帯し、日本の侵略反革命・朝鮮出兵準備を打ち砕け！

○社会愛國主義の大合唱と、社共の小平平和主義の退却を突き破り、プロレタリア階級独裁を戦取せよ！

○ブルジョア階級独裁擁護・戦争協力・拳闘一致の「連合政権」を打ち砕け！

○日帝の軍備増強・政治反動に抗し、搾取者の武装解除をめざす、全人民の武装準備をせよ！

○「経営参加」・「連合政権」・ブルジョア階級独裁の擁護か、資本の収奪・生産手段の社会主義的共有をめざすプロレタリア階級独裁の樹立か！

## 光州の学生につづこう！

### 学生

反戦反安保学生実行委員会の組織化は、六・二二決起に向け一歩一歩前進している。

われわれは、革命的な反戦闘争を組織するにあたって、日帝の戦争準備と四・二〇文部省通達との関連を暴露しつつ、韓国民衆決起連帯を前面にかかげてきた。多くの学生大衆は、この文部省通達への「自主的政治活動を禁止」の目的を痛感しはじめている。現に通達の果敢に如実にあらわれている。そしてこれに対する反撃も、今年四・二〇清水谷への千余名の学生の結集によって開始されてきた。

だから、実行委員会に結集する草

他方、大学情で「光州蜂起」に連帯し、反戦反安保闘争に決起しようと呼びかけ、ピラをうけつづけた学生大衆は興味深げに読んでいた。われわれは、この一つ一つに、学生運動の新たな胎動を感じている。七〇年代の反差別共同闘争の拡大と先進的学生のとり組みをうけつづけて、学生大衆の政治意識は、直接大学管理支配・ブルジョア国家権力に対する怒りへと向いつつある。財界の徴兵制導入発言などで、戦争に対する危機感も増大している。

六・一五日日比谷野音の「反安保反戦、韓国民衆連帯」集会に全



1967年11・12 第2次羽田闘争 進撃する万余の学生達

国から闘う学生が結集した。われわれの全国オルグでも、「もともと知っている結果集した」という声が多くなっている。このように学生運動のうねりがいま進展している。それ故、急進民主主義党派の少数「自治会支配」などは完全に桎梏物へと転化しつつあるといつてよい。先進的学生の決起の自主性、多様性を思いきって促進し、発展させる方向を示さねばならない。

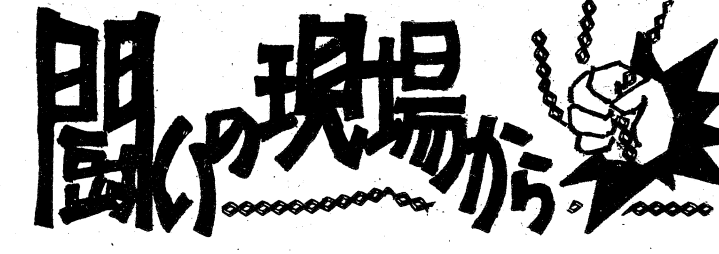
だからわれわれは、革命的な反戦闘争の正しさと、全国学生共同闘争の組織化の必要性を、この間の活動で強く感じた。六・二〇の反戦反安保映画集会を闘い、六・二二への方向をもつて決起する。そして、更なる進撃をこの闘いの教訓と結びつけ準備するつもりである。いざ決起せん、

今回の衆同時選挙は「国防問題」を論戦の焦点へと押し込んだことにより、帝国主義戦争に対する労働者階級の態度を巡る問題を、現実的課題として人民の社会生活の中へ引き寄せた。すでに今年のメーデーには赤旗ならぬ日の丸をもちこむ同盟労組まで登場している。この産業報国会運動は、個別資本の枠をこえ、「国益」を前面に掲げた戦争準備のあらわれである。今こそ、右翼「労統」に反対、統一労働組合連合の階級的労働運動の再生へ向かわねばならない。

### 都教組分裂の本質と

### 先進的労働者の任務

### 革命派の旗を掲げよ!



去る五月十三日、十四日、東京都教職員組合(三万五千人)第五六回定期大会が開催された。都教組主流派たる日共系はこの大会において「正しいナショナルセンター」のあり方を考える全国教職員懇談会「東京統一労働組合」加入を強行した。それは社会党系代議員二五四名の一斉退場という事態の中で強行された。

この日共系主流派の統一労働組合加入の正面突破によって従来統一労働組合の影響が関西に比べて弱いとされてきた東京において一定の足がかりをつかみ、一方で総評議長横枝の出身組合たる日教組に対して揺さぶりをかけようというものであった。



デモの先頭にたつ沖電争議団

の当初から闘いを否定し「民主的主任制論」「教組聖職論」をふりかざして職場の闘いを封殺してきた日共系執行部はこの攻撃に対して二割割員、授業終了時ストというアリバイの対応でお茶をにごし、かたや社会党系主流派は抗議行動ひとつ展開できなかったため、まさしく、この都教組第五六回大会が示したもので七〇年以降毎年のようにかけられてきた中教審路線にもづく具体的諸攻撃(教特法、人材確保法、教育要綱改定、養護学校義務制等々)に何ひとつ反撃しえず敗走につぐ敗走を重ねてきた日共の「教組聖職論」社会党の「反長期抵抗路線」の破産を前にした社共の醜態を延命のため争いであつたといふことは明白である。

### 5/29沖電闘争 階級的労働運動の再生へ!

五月二十九日沖電争議団支援総決起集会が、七八年十一月指名解雇攻撃以来、最大規模の四五〇〇名にも及ぶ労働者の結集によって開かれた。この集会の勝利は解雇攻撃を粉砕し完全勝利を闘い、実際の闘いのなかで解決し、労働者に鋭く要求するものであつた。

六月一日、熱気あふれる仙台労働福祉会館では、決起集会に先だって午後三時より「全山本山支援共闘全国連絡会」の全国代表者会議が開かれた。支援共闘全国連絡会」の結成は、全山本山労働組合」の結成以来、財政確保と支援組織の拡大をめざして当該労組より提起された。この開議されたものでは、野書記次長より各地区連絡会の討議経過が報告され、東京、神奈川、富山、長野、新潟、山梨、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、熊本、鹿児島、沖縄の各都府県で連絡会が正式に発足したことが述べられた。

### 6・1~2 本山勝利の声を 全国津々浦々に

去る六月一日にわたり、全山本山争議勝利、仙台現地闘争が全山本山労働組合の主催により、約一五〇名の全国の闘う労働者を結集して行われた。

八月の全山本山大会における除名処分決定粉砕に向けて、今集会にて全山本山労働組合は、七月、東京営業所闘争、ユザー闘争、富士銀闘争等、すべての対象を網羅した全国包圍闘争を提起し、いよいよその準備体制を整えつつある。われわれは、今こそ全山本山闘争の苦闘を共有化し、当該労組の提起する全国包圍闘争を、支援戦線の圧倒的強化、拡大をもつて再構築していかねばならない。とりわけ、当面する争闘財政の確立に向けて、六月七月の夏期物品販売活動を、総力をあげて貫徹していくのではないかと。

# 百万人署名へ全力を!

## 二期着工阻止・廃港へ

## 三里塚闘争の勝利へ、労働者階級の総決起を!

三里塚山連合空港反対同盟は、五月五日、現地総決起集会において、百万人署名の呼びかけを発した。新たな呼びかけの趣旨は以下の四点である。

- 一、大騒音下、岩山地区反対同盟の防音工事への資金の集中。
- 一、闘う農業建設の一環として、三里塚山連合空港整備事業への知恵と労力と資金の集中。
- 一、二期着工阻止を達成し、廃港の息の根を止める。
- 一、政府の二期着工着工策動に対して、三里塚空港の廃港をせまる秋の大闘争を闘い抜くため、三里塚空港に反対するあらゆる創意と力を結集する。

三里塚闘争は、十四年間の闘いの中で、ブルジョア階級の強権的農地収奪、独占資本の利益に従属させた農業政策に反対する闘いであると同時に、日帝の戦争準備軍事空港に反対する闘争準備軍事空港に反対する闘争へと至っている。だから、「闘う農業」を掲げた三里塚の闘いは、もう少しはつきり民も互いに、もう少しはつきり

三里塚闘争は、十四年間の闘いの中で、ブルジョア階級の強権的農地収奪、独占資本の利益に従属させた農業政策に反対する闘いであると同時に、日帝の戦争準備軍事空港に反対する闘争へと至っている。だから、「闘う農業」を掲げた三里塚の闘いは、もう少しはつきり民も互いに、もう少しはつきり

三里塚闘争は、十四年間の闘いの中で、ブルジョア階級の強権的農地収奪、独占資本の利益に従属させた農業政策に反対する闘いであると同時に、日帝の戦争準備軍事空港に反対する闘争へと至っている。だから、「闘う農業」を掲げた三里塚の闘いは、もう少しはつきり民も互いに、もう少しはつきり

三里塚闘争は、十四年間の闘いの中で、ブルジョア階級の強権的農地収奪、独占資本の利益に従属させた農業政策に反対する闘いであると同時に、日帝の戦争準備軍事空港に反対する闘争へと至っている。だから、「闘う農業」を掲げた三里塚の闘いは、もう少しはつきり民も互いに、もう少しはつきり

三里塚闘争は、十四年間の闘いの中で、ブルジョア階級の強権的農地収奪、独占資本の利益に従属させた農業政策に反対する闘いであると同時に、日帝の戦争準備軍事空港に反対する闘争へと至っている。だから、「闘う農業」を掲げた三里塚の闘いは、もう少しはつきり民も互いに、もう少しはつきり

### 刑訴法二二六条適用粉砕!

小西同志虐殺からすでに三月がすぎた。まさにこの三月はわが党、とりわけ神奈川県と神奈川県警との熾烈な組織戦の三月の間であった。

### 真相を糾明する会

「犯罪の捜査に欠くことのできない知識を有すると明らかに認められるものが...取調べに対して出頭又は供述を拒んだ場合には...」と、検察官は裁判官にその者の証人尋問を請求することができるとする刑訴法二二六条をもつて、先進的労働者に対する証人召喚という恫喝をかけてきていることである。しかも、それは証人扱いとすることで、偽証罪・証言拒否罪の恫喝によって黙秘権を奪うという極めて巧妙なものである。この二二六条は、ブルジョア階級独裁の全体重をかけ、政治警察の捜査権を一切認めない革命的左翼に適用されてくることにその本質がある。とくに二二六条適用の不当性・反革命性については救済線をほじめぬ人民的反撃が開かれています。

### 高原・判決公判へ結集せよ

七月七日午後一時 東京高裁

### 真相を糾明する会

「犯罪の捜査に欠くことのできない知識を有すると明らかに認められるものが...取調べに対して出頭又は供述を拒んだ場合には...」と、検察官は裁判官にその者の証人尋問を請求することができるとする刑訴法二二六条をもつて、先進的労働者に対する証人召喚という恫喝をかけてきていることである。しかも、それは証人扱いとすることで、偽証罪・証言拒否罪の恫喝によって黙秘権を奪うという極めて巧妙なものである。この二二六条は、ブルジョア階級独裁の全体重をかけ、政治警察の捜査権を一切認めない革命的左翼に適用されてくることにその本質がある。とくに二二六条適用の不当性・反革命性については救済線をほじめぬ人民的反撃が開かれています。

